

2008年8月18日

(株)ノーリツ

「給湯単機能タイプ」にも「高効率 95%のエコ給湯器」登場
 全ての家庭用ガス給湯機器で「エコジョーズ」をラインナップ

～「環境配慮型」製品の充実を図る～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:神崎茂治、資本金:201 億円、東/大証一部上場)は、排熱を再利用できる二次熱交換器を取り付け、給湯の熱効率が 80% から 95%にアップしたエコ給湯器「ユコアGQ エコジョーズ」を2008年9月1日に新発売します。

今回、給湯単機能タイプの給湯器のエコジョーズ化により、暖房付ガスふろ給湯器、ガスふろ給湯器、ガス給湯器すべてのタイプでエコジョーズ商品がそろいました。



ノーリツ独自の環境規制である「GP(グリーンプロダクト)対応商品」

「ユコアGQ エコジョーズ」は、「電気電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」(JIS C0950 通称:J-Moss)で定めている、特定化学物質(6物質)の含有率を、J-Mossで定める基準濃度以下にすると共に、ノーリツ独自の11種類を加えた全17物質を全廃(基準濃度以下にする)して、環境への負荷の低減をさらに実現しました。これにより、適切に管理された化学物質を使用した機器のさらなる普及を目指します。この基準に対応した商品を弊社では「GP(グリーンプロダクト)対応商品」と呼び、カタログや取扱説明書に独自のマークを表示しています。



全シリーズに新方式の二次熱交換器の搭載

今回の「ユコアGQ エコジョーズ」に搭載されている「水管オーバルコイル方式」二次熱交換器はノーリツ独自の熱交換器です。コイル部分は板材から内製により一貫生産したもので、従来の水管ヘッダー方式より溶接箇所を大幅に低減したことで更に信頼性が向上しました。



多彩な用途に対応できる「給湯温度設定18段階」

標準設定となっているリモコンは「省電力モード」で給湯器を使用していないときには約10分後に自動で画面表示を消灯します。

また、多彩な用途に対応できるよう、給湯温度が18段階の設定となっています。32、35の低温度出湯は冬場の洗いものや夏のシャワーに、50、55の中間温度出湯はサーモ付シャワー水栓に適しています。また、標準設定となっているリモコンは「省電力モード」で給湯器を使用していないときには約10分後に自動で画面表示を消灯します。



「ユコアGQ エコジョーズ」について



熱効率 80% 95%

「ユコア GQ エコジョーズ」は、給湯の熱効率を 80% から 95% にアップさせた、環境に配慮したガス給湯器です。従来のガス給湯器では、一部の燃焼ガスは排気として捨てられており、熱の約 20% が利用できていませんでした。「ユコア GQ エコジョーズ」は、一次熱交換器の上に二次熱交換器を追加し、約 200 の排気ガスで水を温め、バーナーでさらに加熱するので、エネルギーの無駄をカットすることが可能になりました。ふる・給湯で比較するとランニングコストも従来の GQ シリーズに比べ年間で 12,900 円のコストダウンが可能です。(従来 GQ シリーズ年間 81,400 円 ユコア GQ エコジョーズ年間 68,500 円)

CO₂排出量を 16% をカット

「ユコア GQ エコジョーズ」は、ガス給湯器の排熱を再利用することにより、地球温暖化の原因である CO₂ の排出量を、従来品に比べ約 16% 削減することに成功しました。また、大気汚染の原因である、NO_x (窒素酸化物) の排出濃度を、60ppm 以下に抑え、環境に配慮しました。

<ご参考>

2005 年 2 月、地球温暖化防止のための「京都議定書」発効

現在、CO₂ 排出量は、100 年前の約 12 倍以上、30 年前の約 3 倍以上に増加し、地球の温暖化がますます進んでいます。異常気象、海面の上昇、生態系の乱れによる生物の絶滅の恐れなど、地球温暖化により引き起こされる問題は大変深刻です。

1997 年、世界各国の首脳が京都に集い、地球温暖化防止を目指し「第 3 回気候変動枠組み条約締結国会議 (COP3)」が開催されました。先進国及び市場経済移行国の温室効果ガス排出の削減目的を定めた「京都議定書」を採択し、2005 年 2 月に発効されました。議定書では、2008 年～2012 年の日本の削減目標値は、1990 年比 6% 減ですが、現状では、約 8% 増加しています。

いち早く環境問題に取り組み、ふる給湯器まわりの省エネと省資源化に努めてきた当社も、CO₂ の排出量を減らす努力を行うことは急務と考え、環境に配慮したガス給湯器「ユコアGQ エコジョーズ」を開発いたしました。